

放鳥へ餌場モデル地区

9市町が各1カ所

県、工程表も策定

環境省の国特別天然記念物トキの放鳥事業で、能登の9市町が放鳥候補地として選定されたのを受け、石川県は、トキの餌場確保に取り組み、市町各1カ所の水田で「モデル地区」を設けて検証を行い、餌となる生物の生息環境を調べる。放鳥に必要な取り組みをまとめた工程表も策定する計画で、26年度以降の放鳥実現に向け、能登だけでなく県全体の機運醸成に努むる。



能登を羽ばたくトキ。能登9市町に餌場となるモデル地区を設定する
—2011年2月、羽咋市内

モデル地区は、放鳥予定地となっている4市5町に1カ所ずつ配置する。各市町やJA、住民と連携し、水田に水路や、水路と田をつなぐ「魚道」などを整備するほか、冬季も田に水を張る「冬季湛水」などを行い、トキの餌となる生物がすみ環境を整える。

国は年内をめどに、国と佐渡市、放鳥候補地で行く協議会を設置し、佐渡での取り組み事例について情報を共有する。モデル地区はこれに先駆けて行い、年度内には地区の選定と整備を終える方針である。

放鳥実現に向けた取り組みの第一歩として「能登地域トキ放鳥推進ロードマップ」を作成する。能登全体を対象に、具体的な調査や実施時期などをまとめる。

営巣地となる森林の整備や環境調査も行う。県は今後、調査の内容や方法、実施時期を決める。

自然環境の保全明記
県の環境政策の指針である「ふるさと石川の環境を

守り育てる条例」を改正し、トキなど希少な野生生物が住む自然環境の保全を明記する。いずれも9月補正予算案に盛り込む方針で、担当者は「取り組みを通して、全県民の放鳥への関心を盛り上げたい」とした。

トキの放鳥は、県と七尾輪島、羽咋、珠洲、志賀、中能登、能登、宝達志水、穴水の9市町が、今年5月にJAや森林組合などをつくる「能登地域トキ放鳥受入推進協議会」を発足し、環境省に候補地として申請を行った。今月5日には、候補地として能登と島根県出雲市が正式に選ばれた。

トキ能登舞って
